

**JASDAQ**

平成 24 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 田 島 秀 二
(コード番号：7707 JASDAQ)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 業 務 本 部 長 秋 本 淳
(TEL.047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 23 年 8 月 12 日公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 平成 24 年 6 月期 第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,960	20	15	5	54円79銭
今回修正予想 (B)	1,722	△49	△79	△95	△1,040円98銭
増減額 (B - A)	△238	△69	△94	△100	
増減率 (%)	△12.1%	-%	-%	-%	
(参考) 前期第 2 四半期実績 平成 23 年 6 月期第 2 四半期	1,529	△153	△162	△158	△1,738円79銭

(2) 平成 24 年 6 月期 通期連結業績予想の修正 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,000	40	30	10	109円58銭
今回修正予想 (B)	3,620	10	△30	△60	△657円46銭
増減額 (B - A)	△380	△30	△60	△70	
増減率 (%)	△9.5%	△75.0%	-%	-%	
(参考) 前期実績 平成 23 年 6 月期	3,142	△432	△424	△366	△4,017円95銭

2. 連結業績予想の修正理由

前連結会計年度は、一昨年の新型インフルエンザの流行が収束する過程で、OEM先において当社製品(装置及び消耗品)が過剰在庫となった影響から、大幅に売上高を落とす結果となりましたが、当連結会計年度は、過剰在庫の解消とともに主力 OEM 先向けの販売が回復し、売上高 40 億円を予想しております。

全体的には、業績は回復基調にあり、前連結会計年度を上回る業績を示すことは確実と思われませんが、輸出依存型の当社にとっては、為替（円高）の問題もあり、予想どおりの展開にはならず、今般、上記のとおり業績予想の修正を行うものとしたしました。

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想

売上高に関しては、回復基調にあるものの、ロシュグループ向け販売に過剰在庫の影響が未だに残る形となっていること、米国 OEM 先の一部が低調であり、前期実績を下回る推移となっていることなどを考慮し、売上高 1,722 百万円（当初予想比 12.1%減）といたしました。

売上総利益に関しては、売上高の減少に伴い 650 百万円（当初予想比 8.5%減）とし、販売費及び一般管理費は 699 百万円（当初予想比 1.3%増）といたしました。その結果、営業損失 49 百万円（当初予想は営業利益 20 百万円）となりました。

その他、為替差損 24 百万円の計上などから、経常損失 79 百万円（当初予想は経常利益 15 百万円）、四半期純損失 95 百万円（当初予想は四半期純利益 5 百万円）といたしました。

(2) 通期連結業績予想

第3四半期以降、ロシュグループ向け販売の更なる回復を見込むとともに、米国での新規 OEM 先の獲得による新製品開発の受託を目論んでおります。第2四半期連結累計期間と比べ、こういった売上増加の要因を見込み、売上高 3,620 百万円（当初予想比 9.5%減）といたしました。

売上総利益は、売上高予想の修正に伴い 1,360 百万円（当初予想比 4.9%減）とし、販売費及び一般管理費は、第3四半期以降コスト削減に努め、1,350 百万円（当初予想比 2.9%減）といたしました。その結果、営業利益 10 百万円（当初予想比 75.0%減）となりました。

その他、第2四半期連結累計期間で計上した為替差損 24 百万円の影響などから、経常損失 30 百万円（当初予想は経常利益 30 百万円）、当期純損失 60 百万円（当初予想は当期純利益 10 百万円）といたしました。

なお、第3四半期以降の為替の見通しは、1 ユーロ=100 円、1 ドル=77 円にて算定しております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上